

2013年8月2日

報道関係各位

アストラゼネカ 業績発表のお知らせ

昨日、8月1日、アストラゼネカ英国本社が発信しました下記のプレスリリースのハイライトの日本語訳をご参考までにお送りいたします。

この資料の正式言語は英語であり、その内容およびその解釈については英語が優先します。英文のプレスリリースはこちらからご覧下さい。<http://www.astrazeneca.com>

なお、プレスリリース全文の日本語訳は8月下旬に弊社ホームページに掲出する予定です。
<http://www.astrazeneca.co.jp>

よろしくご査収のほどをお願い申し上げます。

記

AstraZeneca PLC 2013年第2四半期・上半期業績

以上

<アストラゼネカ株式会社について>

アストラゼネカは、イノベーション志向のグローバルなバイオ・医薬品企業であり、医療用医薬品の創薬、開発、製造およびマーケティング・営業活動に従事しています。100カ国以上で事業を展開しており、その革新的な医薬品は世界中で多くの患者さんに使用されています。詳細はこちらをご覧ください。<http://www.astrazeneca.com>

日本においては、主のがん、循環器、消化器、呼吸器、糖尿病、ニューロサイエンスを重点領域として患者さんの健康と医療の発展への更なる貢献を果たすべく活動しています。当社についてはこちらをご覧ください。
<http://www.astrazeneca.co.jp>

本件に関する問い合わせ先
コーポレートアフェアーズ本部
広報部
電話： 06-6453-8011（広報部代表）

News Release

本資料はアストラゼネカ英国本社が2013年8月1日に発信したプレスリリースを日本語に翻訳し、みなさまのご参考に供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容・解釈については英語が優先します。

AstraZeneca PLC 2013年第2四半期・上半期業績

2013年8月1日 ロンドン発

独占権を失効した製品の影響が過去数四半期に経験した水準と比較して緩和されたため、第2四半期の売上の減少率は恒常為替レート(CER)ベースで4%でした。5つの成長基盤の売上が2桁伸びたことが寄与し、その他の製品の売上は4%増加しました。中核治療領域である循環器・代謝および呼吸器疾患における3つの有望な開発後期プロジェクトの追加により、開発パイプラインは更に強化されました。

第2四半期の売上は恒常為替レート (CER) ベースで4%減の62億3,200万ドル

- 主要ブランド数製品の独占権失効は本四半期の売上減の約5億ドルを占めました。
- 5つの成長基盤（新興市場、日本、チカグレロル、糖尿病フランチャイズおよび呼吸器フランチャイズ）は第2四半期のCERベースの売上増に4億ドル超貢献しました。

第2四半期中核営業利益はCER ベースで10%減の20億5,600万ドル

第2四半期中核一株当り利益（中核EPS）は、税率の上昇により、CERベースで21%減の1.20ドル

- 2012年第2四半期中核EPSは、国際移転価格問題に伴う税務案件の解決により、2億4,000万ドル（1株当たり0.19ドル）のプラス影響を受けました。

第2四半期の報告ベースのEPSはCERベースで44%減の0.66ドル

Omthera PharmaceuticalsとPearl Therapeuticsの買収および先日発表したFibroGenとの提携により、3つの後期開発プロジェクトを開発パイプラインに追加

通年売上ガイダンスは据え置き；成長基盤への投資および開発プロジェクトの買収により、中核営業コストは2012年比、CERベースで、1桁前半から半ばのレンジで増加を予想

2013年7月、ダパグリフロジンの新薬承認申請を米国食品医薬品局に提出

取締役会は第1回中間配当0.90ドルを勧告

ファイナンシャルサマリー

グループ	第2四半期	第2四半期	前年 同期比 %	CER %	上半期	上半期	前年 同期比 %	CER %
	2013 100万ドル	2012** 100万ドル			2013 100万ドル	2012** 100万ドル		
売上高	6,232	6,600	-6	-4	12,617	14,009	-10	-8
報告ベース								
営業利益	1,200	1,868	-36	-32	2,597	4,028	-36	-31
税引き前利益	1,086	1,745	-38	-33	2,390	3,780	-37	-32
1株当たり利益	\$0.66	\$1.26	-48	-44	\$1.47	\$2.53	-42	-38
中核*								
営業利益	2,056	2,334	-12	-10	4,380	5,440	-19	-16
税引き前利益	1,942	2,211	-12	-10	4,173	5,192	-20	-16
1株当たり利益	\$1.20	\$1.57	-23	-21	\$2.61	\$3.44	-24	-21

* 当社経営陣は当社の業績を理解していただく上で有益であると考えられる GAAP（一般会計原則）とは異なる補足的な指標として中核財務指標も報告しています。2013年の財務ガイダンスはこの指標に基づいています。中核財務指標の定義および中核ベースと報告ベースの財務指標の調整については2ページおよび4ページをご覧ください。

** 2012年の中核財務業績は中核財務指標に関するグループの定義の変更に伴い修正しています。この変更は、2013年第1四半期の財務実績より実施されました。2013年1月1日に施行されたIAS第19条「従業員給付」へ改正の採用を反映するために報告ベースおよび中核財務実績も修正表示しています。

News Release

最高経営責任者パスカル・ソリオの業績についてのコメント:「予想された数製品の独占権失効による売上への影響はありましたが、当社は戦略的優先事項において第2四半期に確実に進捗を遂げました。特色のあるサイエンス、開発パイプラインプロジェクト、製品および主要市場に引き続き投資していきますが、5つの成長基盤の売上への貢献は2桁増でした。Fostatinibは残念な結果となりましたが、中核治療領域における後期開発段階のパイプラインは拡充し、Omthera Pharmaceuticalsと Pearl Therapeuticsの買収および先日発表したFibroGenとの提携により、更に強化されました。また、Cambridge Biomedical Campusを当社の新たな英国の戦略拠点の所在地とすることを発表した際も、研究開発の生産性向上への投資に対する当社のコミットメントを再確認しました。」